

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士 (医 学) 氏 名 ^{テイ}鄭 ^{ビョウ}森 Zheng Miao

審査担当者	主査	教授	渡邊	雅彦
	副査	教授	吉岡	充弘
	副査	教授	大場	雄介
	副査	教授	清水	宏

学 位 論 文 題 名

Histochemical analysis of a hyaluronan receptor LYVE-1 in the reticulo-endothelial system

(細網内皮系におけるヒアルロン酸受容体 LYVE-1 の組織化学的解析)

本研究は、ヒアルロン酸受容体のひとつである LYVE-1 を指標にして、今や歴史的な概念となった細網内皮系 (以下 RES) を組織化学的に解析し、RES の概念を検証し復活することを目的に行われた。その結果、特定臓器の血管内皮細胞とリンパ節の細網細胞が LYVE-1 を選択的に発現し、炎症状態では LYVE-1 の発現が増強すること、マクロファージには LYVE-1 陽性の群と陰性の群が存在することなどを明らかにした。本研究は LYVE-1 に注目して、RES の再評価に成功したといえる。

審査にあたり、ヒアルロン酸受容体としての LYVE-1 の役割、定量的 PCR と in situ hybridization のデータのタイムコースの違い、LYVE-1 と既知のマクロファージや樹状細胞のマーカー分子との発現特性の関連性、LYVE-1 の細胞表面発現に関する妥当性、使用した2つのマウス系統の結果の違い、腸間膜の LYVE-1 陽性マクロファージの2つの形態型などについて質問があった。申請者はこれらの質問に対して、自らの研究結果や先行研究の研究成果に基づいて概ね妥当な回答を行った。

この論文は、LYVE-1 を通して RES の再評価を試み、これまでの視点とは異なる解釈に成功した点において高く評価され、今後の RES 研究、ひいては異物の取りこみや免疫機構の研究が発展することが期待される。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。